

[yamatokogyo.co.jp](https://www.yamatokogyo.co.jp)

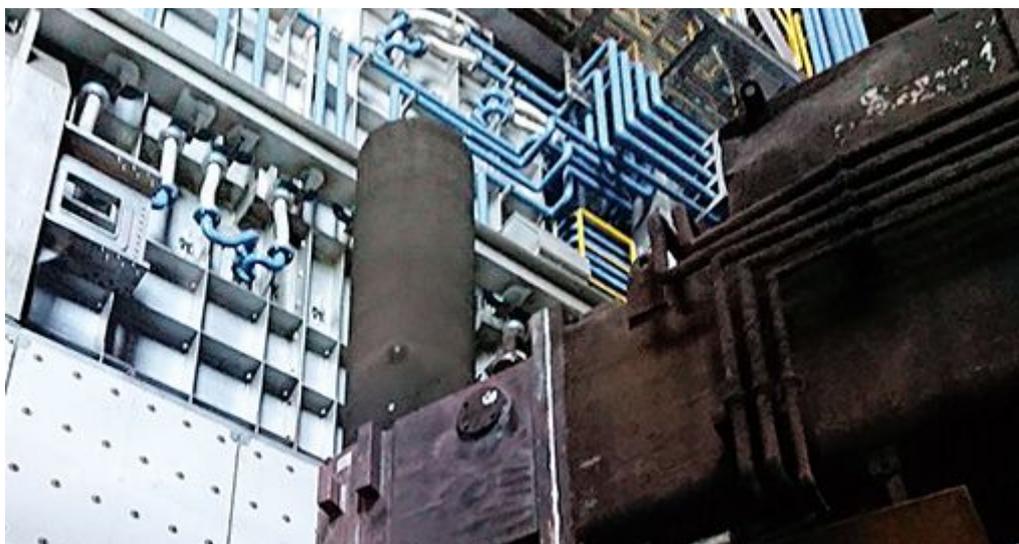
## CSR | 大和工業グループ | 鉄で未来を 未来の鉄を

### 環境への取り組み

「鉄事業を通して、人々の未来を支えていく」ことを使命とする大和工業グループにとって、地球環境の持続に向けた取り組みは最重要課題の一つ。グループ各社において、さまざまな環境対策を行っています。

## 循環型社会の実現

鉄は地球上において、類まれなりサイクル性をもつ素材です。私たちは、鉄スクラップを再利用して鉄鋼生産を行うことで、循環型社会の実現に貢献しています。また、製造プロセスの省資源化・省エネ化にも取り組み、環境負荷の少ない設備の導入等も積極的に行っています。



ヤマトスチール株式会社

ヤマトスチールは2019年から、より環境負荷の少ない設備である単段式炉頂スクラップ予熱装置(SSP)を採用しています。同装置は、電気炉から排出される高温ガスを利用し、鉄スクラップの予熱を行うことで、大幅な省エネルギー化を実現しています。また、製鋼工程で発生するスラグの一部は、社内で破碎・エージング等の処理を施し、有価物としてリサイクル業者へ売却しています。



大和商事株式会社

病院等からの医療廃棄物(注射針・検査機材・薬剤容器等)を、密封された金属容器で安全に回収するサービスを行っています。回収された医療廃棄物は、ヤマトスチールの電気炉に投入され、1600℃の高温で安全・確実に熔融処理されます。



姫路鐵鋼リファイン株式会社

ヤマトスチールなどの製鋼工程で発生する集塵ダストを主原料にし、キルン内で還元加熱処理を行うことにより、亜鉛等の原料となる粗酸化亜鉛を製造しています。

## 海外における取り組み



### Nucor-Yamato Steel Company (米国)

出資パートナーであるNucorグループの環境マネジメントシステムを採用しており、省エネルギー・廃油処理・廃棄物低減・地域貢献の4分野において環境対策チームを組織し、工場全体で継続的に環境活動を行っています。アーカンソー州地域社会に対しても、地元学生への環境教育を行うなど積極的に活動しており、2018年には同州のリサイクル団体であるARCから地域貢献賞を受賞しました。



### Siam Yamato Steel Co., Ltd. (タイ)

太陽光発電による自然エネルギーの活用や排ガスからの廃熱利用促進、製鋼スラグの再利用などの環境対策を積極的に行っています。2018年には、タイ工業連盟から同国の鉄鋼メーカーで初めて「エコファクトリー」の認定を受けました。

人が輝く社会づくり

## 社員が働きやすい職場環境を実現

### 充実した社員サポート制度

社員のワークライフバランスを充実させるための誕生日休日制度や、英語力向上のための語学通信教育制度、昼休みを利用した**English Cafe**を設けるなど、継続的な福利厚生・自己啓発支援を行っています。

大和工業グループはチャレンジする人を応援しています。

### スポンサー支援

兵庫県姫路市を拠点に活動し、「姫路から世界へ」というスローガンを掲げ、Vリーグの頂点を目指しているプロ女子バレーチーム『ヴィクトリーナ姫路』とメインスポンサー契約を締結し、地域の活性化に貢献しています。他にも、なでしこリーグで活躍する姫路の女子サッカーチーム『ASハリマアルビオン』のスポンサー活動を行っています。

※2018.10.19 トップスポンサー締結契約 記者会見時の写真



### 京都大学奨学金支援

グローバル人材の育成を支援するため、京都大学経営管理大学院とコーネル大学との国際連携コースへの奨学金の拠出を行っています。



英語プレゼンコンテスト

地元兵庫県の高校生を対象とした英語プレゼンコンテストの支援を行うことで、将来のグローバル人材育成に貢献しています。



米国における取り組み

米国/Nucor-Yamato Steel社の近隣にあるArkansas Northeastern College (ANC)の奨学金支援チャリティゴルフに、大和工業グループは毎年スポンサーとして参加し、寄付累計額は42万ドル(2019年末現在)に達しています。また、ANCの学生を日本へ招く短期留学制度を1996年から実施しており、社員自宅へのホームステイや文化遺産訪問などを通して、日本の文化を紹介しています。



### タイにおける取り組み

タイ/Siam Yamato Steel社では、1997年から3E (Economic・Education・Environment) をコンセプトにCSR活動を行っています。2017年には「SYS教育基金」を立ち上げ、タイ全土の恵まれない子どもたちへの長期的な支援も開始しました。

### 品質基本方針

大和工業グループは、Mission・Vision・Yamato SPIRITに基づき、お客様に安全・安心で高品質・高付加価値な製品とサービスの提供を何よりも優先します。

### 品質への取り組み

#### ◆ お客様満足度の向上

お客様の立場に立って誠実な対応を心がけるとともに、お客様の声はさらなる品質向上の源泉ととらえ、新しい価値の提案や継続的改善を行い、お客様満足度の向上を追求します。

#### ◆ 安全・安心

原料・資材の調達から開発・製造・検査・物流・販売にいたる全ての活動において、安全でお客様に安心していただける製品・サービスを提供します。

#### ◆ 法令遵守

製品・サービスの開発・提供に対して高い倫理感を持ち、法令や社会規範を遵守します

#### ◆ 品質情報の提供

お客様からの要望に対し、信頼のある正確な情報を提供します。

#### ◆ 客観的で透明性のある品質保証

国際標準の考え方などを取り入れた品質保証の仕組みを運用・維持します。

#### ◆ 継続的な改善

環境変化を先取りした技術の開発・取得、人材育成を進め、品質保証をたゆまず改善・進化させていきます。

## 品質管理

ISO 9001(品質マネジメントシステム)に基づく優れた品質管理体制

ISO 9001を認証維持し、品質マニュアルに沿った活動で、内部監査・マネジメントレビューを実施。

社員ひとりひとりが改善の意識を持ち、各工程毎に品質を向上させ顧客を満足させる製品の受注から出荷までの管理に取り組んでいます。

国内外の工場間で情報を共有し、大和工業グループ一丸となってお客様に厚い信頼をいただける企業を目指して日々努力を重ね、更なる品質向上に努めてまいります。

## 主な認定資格

ヤマトスチール・大和軌道製造 ISO9001/14001認証登録

ヤマトスチール 登録番号 No.0772-ISO9001 No.E1681-ISO14001

大和軌道製造 登録番号 No.1907-ISO9001 No.E1197-ISO14001

ヤマトスチール 日本産業規格(JISマーク表示制度認証取得製品)

認証番号 QA0507014

一般構造用圧延鋼材 JIS G 3101

溶接構造用圧延鋼材 JIS G 3106

溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材 JIS G 3114

建築構造用圧延鋼材 JIS G 3136

溶接用熱間圧延鋼矢板 JIS A 5523

熱間圧延鋼矢板 JIS A 5528

H形鋼ぐい JIS A 5526

認証番号 TC0515002

コンクリート用スラグ骨材-第4部:電気炉酸化スラグ骨材 JIS A 5011-4

ヤマトスチール 船舶用鋳鋼品・圧延鋼材製造法承認

日本海事協会/ロイド船級協会/アメリカ船級協会/フランス船級協会/中国驗船中心/  
韓国船級/DNV GL 船級協会

## 調達基本方針

大和工業グループは、お客様にとって価値ある安全・安心で高品質・高付加価値な製品とサービス

スを提供し、Mission・Vision・Yamato SPIRITを実現するために、サプライヤーからの支援・協力のもとオープンでフェアな調達活動を実施します。

#### 1. 安全の最優先と品質の確保

・安全を最優先とし、お客様にご安心いただける製品・サービスを最適な価格でご提供できるよう調達活動を推進します。

#### 2. コンプライアンスの遵守

- ・社会模範、関連する法令およびその精神を遵守し、社会に信頼される良識のある活動を実施します。
- ・調達に関わる担当者は、いかなるサプライヤーとも個人的な利害関係を持たず、寄付やグループの製品・サービス等の利用を強要しません。
- ・反社会的勢力とは一切の関りを持たず、不当な要求は拒絶します。

#### 3. 公平・公正な取引

- ・サプライヤーの選定は、品質・コスト・納期・安定調達のほかに、CSRの取り組み、技術力、提案力等を総合的に評価したうえで行います。
- ・複数のサプライヤーからの競争見積もりによる調達を原則とし、公平な参入機会を提供します。

#### 4. 環境への配慮

- ・法令、条例、業界の自主基準を遵守し、自然と調和・共存する社会づくりを目指します。
- ・環境への配慮、汚染の防止を心がけ、地球環境に配慮した調達活動を実践します。

#### 5. サプライヤーとの相互の信頼と繁栄

・サプライヤーとの長期的な信頼関係を築き共存共栄を図ります。また、サプライヤーと協力しリスクの適切な管理と未然防止を徹底し、社会と経営への影響を回避する取り組みに努めます。

#### 6. 情報管理

・調達活動において提供を受けた情報や技術は適正に管理します。

### 大和工業グループCSR中期計画

CSR活動を推進するにあたり、自社および社会にとって重要度が高いと考えるテーマ(マテリアリティ)を特定した上で、2025年度をターゲットとした「CSR中期計画」を策定しました。

CSR中期計画は[こちら](#)をご覧ください。